

| | | | | | | | |
|------------|-------|-----|------------|-----|----|----------|---|
| 令和7年度 教育計画 | | | | | | 学校番号 022 | |
| 宇和島市立遊子小学校 | | | | | | | |
| 校長名 | 得能 健二 | 学級数 | 4 (0) | 児童数 | 20 | 教職員数 | 8 |

遊子小学校は、学校教育目標

ふるさとを愛し、たくましく生きる児童の育成



の実現に向けて、学校・家庭・地域の力を合わせます。

目指す児童像

- 自分で設定した目標に向かって努力する子
- ふるさとの価値に気付き、ふるさとに貢献しようとする子

自分から
仲よく
元気に
校訓



目指す教師像

- ◇ チーム遊子として働きがいを感じる教師
- ◇ 業務改善しながら誠意・信頼・熱意・挑戦を失わない教師

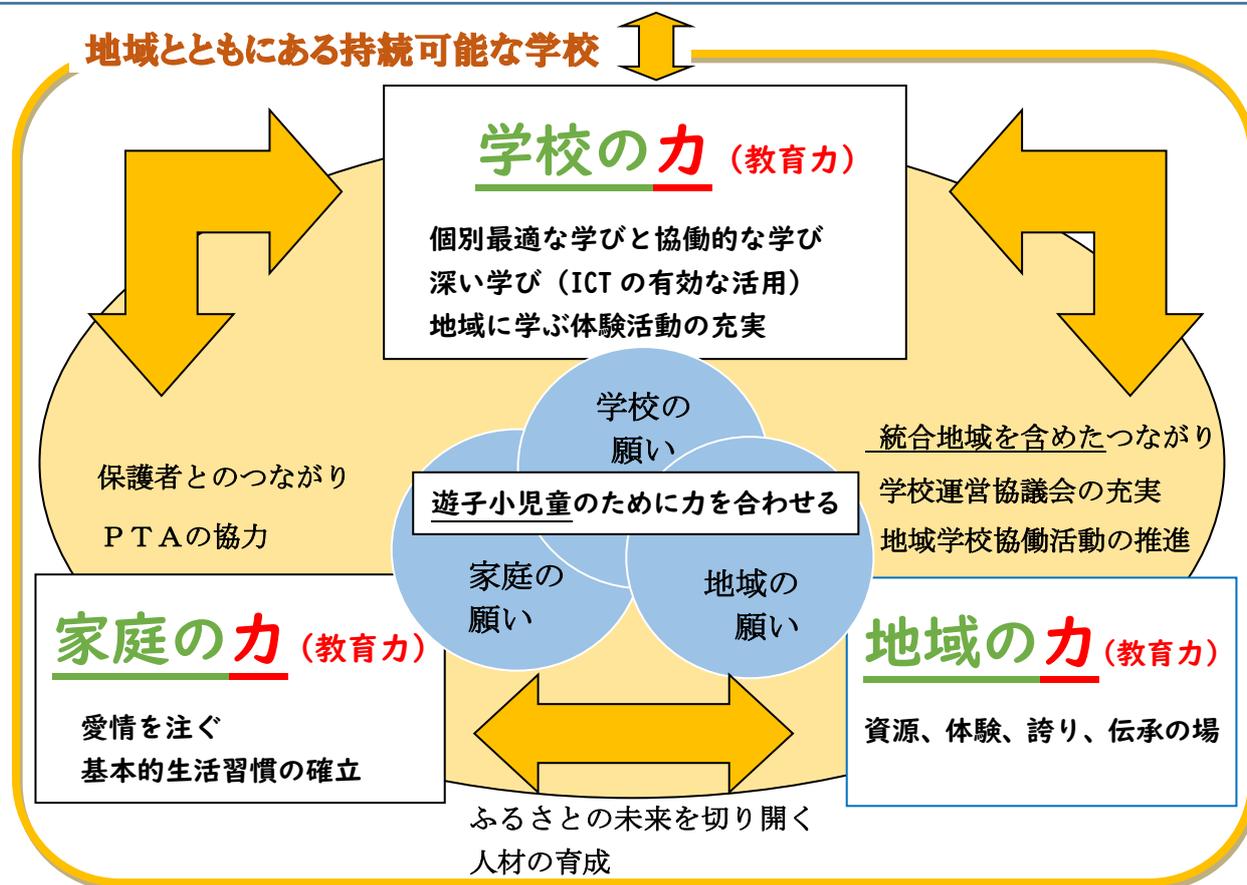
【遊子っ子 あいうえお】

あ あいさつ・**反**応 **い** 命 **う** 運動・勉強 **え** 笑顔 **お** 思いやり を大切にします。

【学校経営の重点】 将来の姿を共有しながら、一人一人の可能性を伸ばす

【スローガン】 未来につながる、今を全力で！

地域とともにある持続可能な学校



| | |
|--|---|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重点目標</p> | <p>1 学校の教育目標 ふるさとを愛し、たくましく生きる児童を育成する。</p> <p>2 基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の設定した目標に向かって努力する児童の育成に努める。 ○ 地域の教育資源を最大限に生かすふるさと教育の充実を図りながら、保護者や地域と連携協働することで、地域とともにある持続可能な学校を推進する。 <p>3 経営の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 将来の姿を共有しながら、一人一人の可能性を伸ばす ～「遊子っ子 あいうえお」の具現化～ あ 気持ちのよい挨拶や適切な反応などを通して、当たり前のこと当たり前のできる態度を育て、よりよい人間関係の構築を目指す。 い 「自分の命は自分で守る」を合言葉に、学校安全教育の充実を図るとともに、安全・安心で充実した教育環境の整備に努める。 う 目標に向かって粘り強く取り組み、運動・勉強で達成感を味わえるように努める。 え 様々な交流・体験活動を充実させることで、いじめや不登校のない笑顔あふれる学校づくりに努める。 お 遊子の自然や歴史、産業など、地域の教育資源や人材を活用した体験活動に取り組むことで、ふるさと遊子を思いやる子を育てる。 |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">管理運営</p> | <p>1 人的管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもと向き合う時間を確保するために、教職員のアイデアを結集して、学校における働き方改革を推進する。また、地域住民による学校支援体制の構築を図る。 ○ 明るく風通しのよい人間関係を構築し、「報告・連絡・相談」を確実にを行うことで、問題を組織で対応する体制を整える。 ○ 教職員が一人一人の能力や意見を生かすことができる職場づくりに努める。 ○ 教職員の服務規律の遵守と危機対応能力の向上を目指し、信頼される学校づくりに努める。 <p>2 物的管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全点検の日常化を図り、潜在的危険箇所を除去する。 ○ 家庭や地域と連携し、児童の見守りを行い、交通事故防止や犯罪被害防止に努める。 ○ 感染症や熱中症等の対策を行い、児童の健康管理に配慮する。 ○ 学校給食の安全性を確保するために、衛生管理を徹底する。 ○ 施設・設備・備品の整備や整理整頓と教材・教具の有効活用を図る。 <p>3 事務管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 城東共同学校事務室との連携を密にして、適正で迅速な事務処理を行う。 ○ 校務分掌の明確化と適正化を図り、事務処理の効率化を図る。 ○ 個人情報適切な保管・管理に万全を期す。 |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">本校教育の特色</p> | <p>【ふるさと教育の推進】</p> <p>総合的な学習の時間・生活科を中心としたふるさと教育において、地域資源を最大限に生かした学習を意図的・計画的に取り入れ、ふるさとを愛し、ふるさとに貢献する児童の育成に努める。特に、統合地域を含めたつながりを大切にし、地域に学ぶ体験活動を充実させることにより、児童がふるさとの価値に気付くことができる教育活動を推進し、ふるさとの未来を切り開く人材を育成する。</p> |